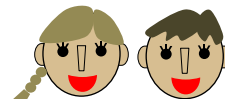
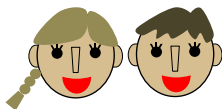


今月の 国内拠点ニュース



～地域も途上国も元気に～VOL. 39 (2017年9月号)

| センター | 掲載記事 |
|--------|------------------------------------|
| ◆札幌 | 地球のステージ ～JICA 北海道篇 世界とつながる青年海外協力隊～ |
| ◆帯広 | 帯広で「世界」と出会う夏休み！－高校生国際協力プログラム－ |
| ◆東北 | 弘前大学で貿易ゲームを実施しました |
| ◆二本松 | 「夕涼みの集い」って何だ？ |
| ◆筑波 | ちびっ子博士 2017「お米で楽器をつくろう」 |
| ◆東京 | 誰一人取り残されないアクセシブルな社会作りに向けて |
| ◆横浜 | JICA 海外移住資料館、来館者 50 万人突破！ |
| ◆北陸 | アラブへ GO！みんなでクッキング体験 |
| ◆駒ヶ根 | 野外訓練が行われました |
| ◆中部 | 企画展「セカイ×BOSAI－ソナエあれば ウレイなし－」 |
| ◆関西 | アサヒビール コラボ企画 「世界のコトバで、世界と遊ぼう！」 |
| ◆中国 | 8月6日「平和記念式典」に研修員が参列 |
| ◆四国 | 「日系ネットワーク強化を通じた地域振興」実施報告 |
| ◆九州 | 高校生向け「上下水道ユース人材理解促進研修」海外研修報告 |
| ◆沖縄 | 第40回浦添てだこまつりにてエイサー演舞！ |
| ◆地球ひろば | 「衣」を通じて見る世界 ファッションをミライのアクションに |



◆札幌

地球のステージ ～JICA 北海道篇 世界とつながる青年海外協力隊～



10月1日14時から北海道大学 学術交流会館にてNPO 法人地球のステージ代表理事の桑山紀彦氏によるオリジナルコンサートステージが開かれます。今回は桑山さんが訪れた国で出会った青年海外協力隊がテーマです。協力隊は開発途上国でどんな活動をしているの？帰国後彼らは何をしているの？そんなことを桑山さんのステージで見てください。入場は無料で申込者優先(定員300名)ですが、席に空きがあれば当日参加もOKです。ステージ終了後には、ボランティアの個別相談ブースもあります。お気軽にお立ち寄りください。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/sapporo/event/2017/20171001.html>

★札幌のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/sapporo/index.html>

◆帯広

帯広で「世界」と出会う夏休み！～高校生国際協力プログラム～



8月5日、道東の高校生12名が集まり、開発途上国のことや国際協力について考える参加型ワークショップを実施しました。参加者は「世界がもし100人の村だったら」、「貿易ゲーム」の2つのプログラムを通じ、識字教育が受けられないことが生み出す問題や、世界の経済格差はどうしてなくなるのかなどを疑似体験しながら学び、「今回の体験で、途上国のことや、いまの世界の状況を知り、とても勉強になりました」「お金について当たり前だと思っていたことに新しい発見ができた」などの感想が寄せられました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/obihiro/topics/2017/20170810.html>

★帯広のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/obihiro/index.html>

◆東北

弘前大学で貿易ゲームを実施しました



弘前大学 農学生命科学部の学生を対象に、世界の経済格差や富の偏り、多様性について体感するワークショップ「貿易ゲーム」を行いました。参加者は各グループを「国」、グループメンバーを「国民」として、国の「資源」である紙を定規やハサミ、コンパスなどの「技術」を用いて加工した「製品」にして「マーケット」で売り、力を合わせて自分たちの国の資金を増やして経済発展を競い合います。参加者からは「自分本位になりすぎない優しさが、ひいては世界を豊かにするのだと思った」などの感想がありました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/tohoku/topics/2017/ku57pq00000hipci.html>

★東北のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/tohoku/index.html>

◆二本松

「夕涼みの集い」って何だ？



7月29日に開催された地元のJICA 応援団の方々との交流を盛んにする「夕涼みの集い」。JICA 二本松訓練所では、近年、福島県内の地域活性化支援にも力を入れていますが、訓練生と地元の方々の交流の場は限られており、両者の接点を増やすための方策が検討されてきました。この「集い」は地元企業や自治体関係者と帰国隊員とを引き合わせる絶好の機会でもあり、二本松観光協会の安齋文彦会長も「帰国隊員の方々への就職紹介など、若者の1ターンに結びつけるイベントへ発展する可能性もある」と述べられました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/nihonmatsu/topics/2017/ku57pq00000hiu5f.html>

★二本松のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/nihonmatsu/index.html>

◆筑波

ちびっ子博士 2017 「お米で楽器をつくろう」



8月8日、元気いっぱいのおちびっ子19名が「お米で楽器をつくろう」に参加し、「稲作技術向上」コースの研修員12名と楽器作りやダンスを楽しみました。作った楽器は「レインスティック」と「マラカス」です。レインスティックは、紙筒に爪楊枝を螺旋状に挿し、その中にお米を入れて両端を閉じ、振ったり揺らしたりします。雨のような音を奏でることができ、楽器の名も、この音に由来するそうです。子どもたちからは「いろんな国でお米を食べていることを知った」「楽器作りもダンスもとても楽しかった」という感想がありました。

該当ページ <https://www.facebook.com/jicatsukuba/posts/905087222973301>

★筑波のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/tsukuba/index.html>

◆東京

誰一人取り残されないアクセシブルな社会作りに向けて



「アフリカ地域 障害者のエンパワメントを通じた自立生活促進」研修において、6月27日、世界銀行と合同公開セミナーを開催しました。SDGs に向けて世界銀行でどのような取り組みがされているのか、また障害者権利条約の19条、障害を持つ人の自立及びアクセシビリティについてどんな取り組みがなされるべきかを考えました。研修員からの発表の中で、ナミビアの行政官で車いす使用のシーペンさんが、自らがポリオで障害を負い、長期入院を強いられたこと、そして自分の生きたい人生を送ることの重要性を語ってくれました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/tokyo/enterprise/report/ku57pq00000h91n3.html>

★東京のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/tokyo/index.html>

◆横浜

JICA 海外移住資料館、来館者 50 万人突破！



8月25日、海外移住資料館の来館者数が50万人を突破。50万人目は、横浜市の神奈川学園中学校から来館した女子中学3年生6名と引率の先生1名のグループです。記念証明書と記念品を贈呈し、引率の佐藤岳教諭からは、「大変光栄に思います。多文化共生社会の在り方考える総合学習の一環として、『どのような時に人は国境を越えて動くのか』を考えるため資料館にお世話になっています」とのコメントをいただきました。式典後、生徒のみなさんは、展示案内ボランティアの説明を熱心に聞きながら館内を見学しました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/yokohama/topics/2017/170825.html>

★横浜のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/yokohama/index.html>

◆北陸

アラブへGO！みんなでクッキング体験



シェア金沢のキッチンスタジオで開催された料理イベント「アラブへGO！みんなでクッキング体験」。元青年海外協力隊員によるシリア・モロッコの活動体験談の後は、30名以上の参加者がグループに分かれてクッキング。初めて聞くシリアやモロッコの料理を、みんなでレシピを見て一生懸命作りました。夏休みということで、小さいお子さんたくさん参加してくれ、スタジオは大賑わい。無事に料理が完成したら、みんなでテーブルを囲んでお昼ごはんです。みなさん、自分たちで作った料理を美味しく食べていました。

該当ページ <https://www.facebook.com/jicahokuriku/posts/868064390012710>

★北陸のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/hokuriku/index.html>

◆駒ヶ根

野外訓練が行われました



JICA 駒ヶ根訓練所で行われた野外訓練に、麗澤大学の学生さん11名も参加しました。任地で共同作業を行う力を養うためのチームビルディングでは、アクティビティを通して、グループがチームへと成長する過程を体感しました。その後、普段とは異なる生活環境下においても柔軟に適應する力を身につけるため、限られた食材と備品での炊事の工夫や、生活に役立つ技術を学びました。学生さん達は、「訓練生の皆さんのリーダーシップに驚いた。皆さんがとても優しかった。貴重な経験に感謝している」と、感想を話してくれました。

該当ページ <https://www.facebook.com/jicakomagane/posts/1438286569581174>

★駒ヶ根のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/komagane/index.html>

◆中部

企画展「セカイ×BOSAIーソナエあれば ウレイなしー」



JICA 中部なごや地球ひろばでの企画展「セカイ×BOSAIーソナエあれば ウレイなしー」。1階体験ゾーンは9月上旬より休館予定ですが、2階のパネル展示は10月1日までご覧いただけます。2015年3月に仙台で開催された第3回国連防災世界会議で決定された「仙台防災枠組」の4つの優先行動を基に、世界各地における多様な取り組みをご紹介します。命と命に関わる基盤を守るため、日常のBOSAI、世界のBOSAIについて、一緒に考えましょう。9月3日には連動イベントの講演会「タイで育ったBOSAIの心」も開催されます。

該当ページ https://www.jica.go.jp/chubu/event/2017/20170615_01.html

★中部のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/chubu/index.html>

◆ 関西

アサヒビール コラボ企画 「世界のコトバで、世界と遊ぼう！」



8月5日に、アサヒビール株式会社が、CSR事業の一環で実施するイベント「ラボ・ガーデン」において、アサヒビールさんと JICA 関西の共催で、小学生の子どもたちが参加できる国際協力の企画を開催しました。青年海外協力隊の経験者4人のご協力で、現地での活動の様子やその国の言葉や慣習などを話していただきました。初めて知る国の言葉や写真を見て、子どもたちだけでなく保護者の皆さんも一緒に楽しく学べる機会となりました。子どもたちが習った言葉を一生懸命、ワークシートに書き込んでいる様子が印象的でした。

該当ページ https://www.jica.go.jp/kansai/event/report/2017/170814_02.html

★関西のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/kansai/index.html>

◆ 中国

8月6日「平和記念式典」に研修員が参列。平和への思いを新たにする一日に



8月6日、平和記念公園での「平和記念式典(原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式)」に「バンサモロ紛争影響地域における地域産業の振興」、「平和教育-相互理解の促進をとおして-」コース等、計6研修コース、52名の研修員が参列しました。原爆投下時刻である8時15分には、鐘の音とともに、全員で黙祷を捧げました。インドネシアからの研修員、チャンドラさんは、「とても印象深い式典。72年前の原爆投下直後の広島状況を想像することは大変難しいことですが、一人の人間として非常に悲しく感じました」と感想を述べました。

該当ページ https://www.jica.go.jp/chugoku/topics/2017/20170809_01.html

★中国のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/chugoku/index.html>

◆ 四国

「日系ネットワーク強化を通じた地域振興」実施報告



ブラジル、チリ、パラグアイの日系社会において地域振興を担う日系人リーダーを対象とした「日系ネットワーク強化を通じた地域振興」では、中南米地域への移住者が多い高知県にて、戦後の商店街の振興を目的に始まったよさこい祭りや、世界に目を向けて活躍できる青年の人材育成を目的に実施している青少年グローバルリーダー育成フォーラムへの参加を通じて、地域の人々のイニシアティブに基づく高知の地域振興について学びました。実際に「よさこい国際交流隊」のチームと一緒に踊り、祖国の文化を体感してもらいました。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/shikoku/topics/2017/0829.html>

★四国のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/shikoku/index.html>

◆ 九州

高校生向け「上下水道ユース人材理解促進研修」海外研修報告



北九州市内高校生向対象に実施してきた「上下水道ユース人材理解促進研修」のカンボジアでの研修が無事に終了しました。高校生にとってカンボジアでの研修は、初の飛行機、初の海外、初の途上国と、印象的だったようです。現地での5日間の研修を振り返って、西野友博さんは「一番心に残ったのは、水がいかに大切かということ。初めて水道が家に通った人の声を聞いて、その重要さを感じることができた」そうです。高校生たちは今後、10月7日(土)、8日(日)に北九州市で実施されるエコライフステージにブースを出します。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/kyushu/topics/2017/ku57pq00000hj4cc.html>

★九州のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/kyushu/index.html>

◆ 沖縄

第40回浦添てだこまつりにてエイサー演舞！



7月23日、第40回浦添てだこまつりの「演舞まつり」で、研修員や浦西青年会メンバーで構成された総勢50名近くのJICA沖縄国際センターチームがエイサー演舞を披露。お揃いの半袖に脚絆、サージ(頭に巻く布)を身に付け、三線の音色に合わせて、1曲目の仲順流り、2曲目の唐船ドーイを、笑顔で一生懸命踊り切りました。参加した研修員25名は、3週間という短期間でエイサー習得に励み、沖縄の伝統文化を肌で感じると同時に、沖縄への愛着を深めてくれました。浦西青年会の皆さまの全面的なサポートに心から感謝申し上げます。

該当ページ <https://www.jica.go.jp/okinawa/topics/2017/ku57pq00000hi3j2.html>

★沖縄のことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/okinawa/index.html>

◆地球ひろば 「衣」を通じて見る世界 ファッションをミライのアクションに



JICA 地球ひろばでは企画展『「衣」を通じて見る世界 ファッションをミライのアクションに』を9月19日から2018年1月12日まで開催予定です。人々にとって身近なファッションを通じ、世界の現状や課題（農業使用による環境問題、児童労働、大量廃棄など）や、その解決に向けたフェアトレードなどの取り組みについて知ってもらい、よりよい世界に向けて何ができるのかを考えるきっかけにしていきたいという展示です。入場無料で、毎月第1・第3日曜日が休館日です。

詳細は近日アップ予定です

★地球ひろばのことをもっと知りたい方は

<https://www.jica.go.jp/hiroba/index.html>

発刊責任者：国内事業部長
編集：国内事業部広報班（計画課）
tatpl@jica.go.jp